

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅲ		講義	前川 加奈・中田 修	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>感覚検査・意識障害・痛みの評価・筋緊張検査・協調性検査・高次脳機能障害の検査について講義を行います。高次脳機能検査については、作業療法士科の中田先生より講義をしていただきます。実技をできるだけ多く行い、実際の場面や障害像を想定した練習が行えるようにしたいと思います。それぞれの検査の意義や結果の解釈の仕方を1年生の時に習った基礎的知識と結びつけ、理解できるようになることを目的とします。</p>				
授業の到達目標				
<p>1. 各検査における基礎知識を理解できる 2. 検査の目的、注意点、手順を正しく理解できる 3. 検査を実践する技能を身につける 4. 検査結果の記載方法と考察について理解する 5. 疾患と関連づけて考えることができることを目指します。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	意識障害のみかたについて			
2	感覚検査1 感覚の種類や伝導路について 感覚検査の目的・注意点・手順について 表在感覚検査について			
3	感覚検査2 表在感覚の検査について 深部感覚の検査について（実技1）			
4	感覚検査3 感覚検査の結果の記載について その他の感覚検査について			
5	感覚検査4 表在感覚の検査について 深部感覚の検査について（実技2）			
6	感覚検査5 温冷覚の検査について（実技） 感覚解離について 感覚検査のまとめ			
7	痛みの評価 痛みの種類について 痛みの検査の方法について			
8	協調性検査1 協調性障害の分類について 協調性障害の検査について（実技1）			
9	協調性検査2 運動失調症の分類について 協調性障害の検査について（実技2）			
10	バランス検査1 バランスの基礎知識について			
11	バランス検査2 バランス検査の方法について（実技1）			
12	バランス検査3 バランス検査の方法について（実技2）、まとめと解説			
13	高次脳機能障害の評価について			
14	失行と失認について			
15	注意と記憶について			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	前川：8割（うち実技試験2割：筆記試験8割） 中田：2割		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	前川：講義期間中に実技試験を行います。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第2版	内山 靖 編		医学書院	
ベッドサイドの神経の診かた 第18版	田崎 義昭 他著		南山堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
姿勢調節障害の理学療法	奈良勲・内山靖		医歯薬出版株式会社	
考える理学療法 評価からの治療手技の選択〔中枢神経疾患編〕	丸山仁司・竹井仁 他		文光堂	
自由記載				
備考				